

事業名	市町村の行財政支援事業費	部局	企画振興部	課・室	市町村課
		実施期間	S41 ~	E-mail	shichoson@pref.nagano.lg.jp

しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)

プロジェクト	
施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 1 県と市町村との協働 2 市町村の安定した行財政基盤の確立

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○人口減少により税収や地方交付税が減少する等、市町村の行財政運営は厳しさを増すことが予想されるため、市町村を支援する必要がある。	29年度補正後額	844,187 千円
		職員数	4.45 人

目指す姿	○地域を支える市町村に対し、持続的・効果的な行政サービス、財政の健全化、税の徴収率向上による歳入の確保等に向けた支援等を行うことで、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を目指す。 (主な実施内容:市町村への行財政支援、個人住民税の特別徴収の徹底による税財源の確保など)
------	---

事業コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況						
	27年度	28年度	29補正後	No	成果指標	27年度末	28年度末(見込)	29年度			
	前年度繰越							目標値	成果	達成状況	
予算額											
	当初予算	870,000	870,000	837,087							
	補正予算	10,000	7,440	7,100							
	合計(A)	880,000	887,440	844,187	①	圏域全体の活性化に取り組む圏域数	8	8	9		
Aの財源	一般財源	770,000	770,000	787,087							
	県債										
	国庫支出金	10,000	17,440	7,100							
	その他	100,000	100,000	50,000							
決算額(B)	810,000	852,726									
概算人件費	職員数(人)	3.60	2.60	4.45							
	概算人件費(C)	29,794	21,518	36,828							
概算事業費(B(A)+C)	839,794	874,244	36,828								

成果指標設定理由	①地域活性化に取り組むために複数の市町村が連携し形成する圏域数を成果指標に設定
----------	---

補正により取り組む事業内容	木曾6町村と広域連合、長野県による「広域連携推進会議」において、次のテーマにより、定住の受け皿づくりに向けた県と町村等の役割分担と連携のあり方の検討を行う。 ・広域連携施策の事業化に向けた取組 ・木曾郡全体の町村職員体制の適正化の検討
---------------	---

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(予定)	職員数(人)	29年度		
					(補正前)	(6月補正)	(補正後)
1		市町村合併特例交付金	合併に伴い生じた旧市町村間の地域格差等の行政課題を解消するための事業に対し、交付金を交付する。	2.52	770,000		770,000
2		市町村の広域連携推進事業費	県の総合戦略の実現に資する、市町村が広域単位で連携する事業に対し、交付金を交付する。	1.00	15,000		15,000
3		市町村振興資金貸付金	財政状況等が厳しい市町村等に対し、低利で資金を貸し付ける。	0.08	50,000		50,000
4		市町村の特別徴収支援事業費	給与支払者及び給与所得者に対し、H30年度からの特別徴収の徹底について、様々な機会をとらえて重層的に周知する。	0.05	2,087		2,087
5		木曾地域における新たな広域連携推進事業費	木曾地域における定住の受け皿づくりに向けた県と町村等の役割分担と連携のあり方を検討する。	0.80	0	7,100	7,100
合計				4.45	837,087	7,100	844,187

